

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙 「みらい」
NO. 3694
16年10月7日(金)
・Fax 095-828-1953

長崎の歴史を くんちからみる

おはようございます。

以前、熊本の藤崎宮の秋のお祭りでの掛け声が「ぼしたぼした」というもので、別名「ぼした祭り」と呼ばれていた。しかしこれが「朝鮮人を滅ぼした」に由来するということから言葉を変えた。

(三万)を持ち帰った記録はあるが、戦争は勝利していない。事実、清正軍は一万人が派兵されて、四千五百人が戦死しているほど厳しいものだった。結局、日本軍は秀吉の死去により、引き上げる。これが歴史だ。また善隣友好的にも、民族蔑視としても、「ぼした」をやめるのは当然だと思つた。

そして今日からくんちだ。いまから三八二年前の二六三四(寛永十一)年の旧暦の九月九日の重陽の節句に、長崎奉行の肝いりで始まる。目的はキリシタン鎮圧であった。祭りは今博多町付近の遊女二名(高尾、音羽)が「三韓征伐の踊り」を奉納したことが起源とされる。この踊りは、二世紀の神話の世界で、神功皇后の朝鮮征伐に由来する(日本書紀)。



の寄進は取り消され、長崎は天領となり、長崎甚左衛門純影は追放され、長崎には殿様がいない。

時代が江戸につづるが、相

人口一五〇〇人、大村の領主、大村純忠の支配地であった。殿様は純忠の娘婿の長崎甚左衛門純影で一五〇〇石だ(今も諏訪神社に銅像が建ち、夫婦川町の山頂に城跡がある)。ここに平戸を追われたポルトガル人が貿易港を開き、今の県庁通りの市役所までの間に六町ができる。この六町を純忠から寄進をつけたローマ教会は、県庁のところに白い教会をたて、その姿は東洋のローマといわれた。しかし、秀吉のキリシタン禁教令で、こ

変わらず長崎はキリシタンの町であり、寺や神社はなかった。こうしたことを背景に、諏訪神社が再建され、キリシタン一掃を狙う長崎奉行の命で祭りが始まる。今も行われる庭見せの行事は、奉納の出しものと家を一般に開放することで、「私はキリシタンではありませんよ」という意味がこめられているという。

このくんちの始まりの一六三四年はまた現代の長崎の起点でもある。

この年に日本初の石橋の眼鏡橋ができ、出島を作り始める年でもあり、三年後の一六三七年に島原の乱が起き、その翌年に鎖国令が出て、日本は二一五年間も永い眠りにつくが、長崎だけは経済特区として賑わつたのである。

長崎人の祭り好きは、この歴史的風土が生む気性からだとされる。一番は豊かであったことだ。長崎は殿様がいないから税金がない。長崎貿易は五人の町年寄(長崎市長)らが実権を握る長崎商會が取り切り、利益は莫大であった。長崎の品を大阪、堺へ送ると五倍の値になったというから、利益は想像がつく。

長崎商會はその利益の一定額を幕府に上納すると、残りは全町民に分配した。箇所

金・カマド銀とされるポーナスだ(仕事の賃金は別だ)。出島貿易の潤いが長崎町人の豊かさを保証し、宵越しの金を持たない人、祭り・遊び好きとしたのだという「長崎歴史散歩」から。

長崎くんちの奉納踊り、出しものでは好き好きもあると思うが、「こっこでしよ」が一番の人気と思つた。これまでは樺島町が七年に一度しか披露していなかったが、今年は上町がこれを奉納する。



こっこでしよとはなにか。

別名の漢字では「堺段尻」と書く(長崎物知り手帳、長島正一著)。長崎の貿易の品を京・大阪へ運ぶのは堺の廻船だった。その堺商人は港町だった樺島町の常宿に泊まり、この堺段尻を樺島の町民に伝えて、長崎くんちの奉納が始まる。これは一七九九年(寛政十一)と遅い。港町・樺島町には今でも船着き場の石段がいくつも残る。歴史はつながっているのだ。

国指定の民俗無形文化財で

ある長崎くんちは、神社の神事であり、いろんな意味で考えさせられるものがある。起源とされる最初の遊女の踊りが、三韓征伐の舞だといつが、これは今どうなっているのだろうか。

またくんちはキリシタンの鎮庄とつながる。秀吉の命で京都のキリシタン二六名が、耳や鼻を削がれ、長崎までみせしめとして連行された苦難の旅は、彼らにとって天国の神へ近づくと「喜び」の一步一歩だったと書かれているが、長崎に住むものとして、禁教令で殺された数万人の人々の心の痛みを思い、彼ら、彼女らの名誉を回復させたいと願つていまの長崎はキリスト教信者や教会が全国一とされる土地柄だ。潜伏キリシタンと教会群の世界遺産指定問題などもある。

ともあれ、国家安泰の大義のなかに、神社・神と天皇と戦争が歴史的につながっている。また一方で五穀豊穡の農民の願いと祭りもある。これらは日本人の多神教的な祭りの表現だろうが、先人が言つた「歴史に学ばないものは同じ過ちをくり返す」という言葉をかみしめ、戦争と祭りを考え、勇壮な「こっこでしよ」を見ることにしたい。

(写真は、長崎甚左衛門)

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。

めざせ、均等待遇、なくそう差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-山本, 2集-向井, 3集-山田, 郵便-高田, ゆうちよ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。